



笑顔あふれる 少し早い クリスマス

今年も迎えました! “ようこそ サンタさん”



クリスマスには一週間早い12月17日(火)、今年も沢谷地域連合自治会では、地域の子ども達を対象にするさとへの愛着を育む事業として、総勢28名の参加者で「ようこそ!サンタさん」を開催しました。



夕方4時になると、保護者に連れられた保育園児や、スクールバスなどで帰ってきた小学生から中学生までが順番に公民館に「ただいま」と訪れ、「工房さくら」の山根さんに準備していただいたプレンとチョコプレート2種類のシフォンケーキに、クリームや果物などで飾り付けしてクリスマスケーキに仕上げていきました。中にはサンタクロースの衣装を着て参加した子どもさんもいて、調理室が華やいていました。

今回、苦戦したのは子供用包丁を使って、4種類の果物を自分の好きな大きさに切ることでしたが、危なっかしい子も、お家で手伝っていて慣れた子も真剣に頑張りに上手に切ることが出来ました。

ケーキの間にクリームや果物をサンドイッチ風にはさんだり、ケーキも一口大に切つてデコレーションケーキ風にしたりとそれぞれ気持ちのこもった美味しそうなオリジナルケーキが出来上がっていました。それぞれお家へ持ち帰り、家族の皆さんと美味しく食べられたことでしょう。



忘れがたきふるさと 東京しゃくなげ会（沢谷出身者会）

2024交流会



今年で8回目となる沢谷地域出身者の集い『東京しゃくなげ会』、今年から名称を「総会」から「交流会」に変えて11月26日（火）に東京千代田区の主婦会館において開催されました。

当日は東京周辺に在住の沢谷ファン倶楽部会員など22名の参加があり、沢谷連合自治会からは田邊・岸本両副会長、牛尾総務福祉部長など5名が出席しました。

冒頭、東京しゃくなげ会の田邊会長の挨拶に続き、沢谷連合自治会の田邊副会長が最近の美郷町の出来事や沢谷の様子などを紹介され、奥野前会長の音頭で乾杯し宴に移りました。

余興では、10月のふれあい学級で上演された「沢谷子ども神楽」の映像を楽しんでいただき、さらに参加者の自己紹介で皆さんの近況をお互いに知ることができました。また、カラオケで十八番（おほこ）の歌の披露が続ぎ、そして、ささやかながら沢谷から持参した景品と、参加者が持参された菓子箱などをめぐって、空クジなしのお楽しみ抽選会を行いました。お目当ての品が当たった人も、そうでない人も皆さん笑顔で喜んでくださいました。午後1時から始まった交流会も、瞬く間に予定の3時間が過ぎ、岸本副会長の一本締めで会を閉じ、再開を約束してそれぞれ帰路につきました。

生家が既に存在しないなどで帰省が叶わない方々にとって、こうした会を通して故郷を思い出していたくことが出来れば幸いです。

お家でできるプロの技

年末料理とお正月料理

12月9日（月）、『藤の木』（大田市三瓶町）の山本さんを講師に招き、今年最後の「季節の料理教室」を開催しました。

教室では、お店で出されるメニューの「ぎばの味噌煮」とクリスマスにぴったりな「ピーナツカボチャのポターージュ」を作り、IHコンロでも失敗しない黒豆の煮方のコツを教えてくださいました。また、黒豆のほかにエビとホタテの甘煮は調理に時間を要するため、紅白のかぶの千枚漬けと共に講師が作って来られたものを料亭風に盛り付けました。調理の途中や、完成後の実食中にも、しわのできない黒豆に仕上げる温度調節や食材の購入のコツなど説明もあり、受講者からも様々な質問も出て、年末年始に活用できることを多く知ることが出来ました。どの料理も保存がきくので「早速作ってみよう！」との声もありました。

調理前のピーナツカボチャのお土産もいただいたので、近いうちにご家庭の食卓にポターージュが並ぶことでしょう。



やっかいものじゃけど 生かす知恵！ カズラ細工

今年度8回目の「チャレンジ教室」は、地頭所の安田さんを講師にカズラ細工を習いました。

カズラは、自らの剛性で体を支えるのではなく、木に巻き付いたり、地面を這ったりして茎を伸ばしていく農林業者にとつてまさしく「やっかいもの」です。その「やっかいもの」を生かして籠や器に活用させる技が『カズラ細工』です。



使ったカズラは「ツヅラフジ」という種類で秋には黒色の実をつけるカズラだそうです。講師が野山で集めて加工を施されたものを大量に持参いただき、受講者はそれを熱心に編んでいきました。編み方に困った受講者の手が止まると、講師が丁寧に修正して形が整っていききました。皆さん、世界にふたつとないオリジナル作品を満足そうに持ち帰られました。

進化についていこう！

スマートフォン講習会

11月後半に3回シリーズの「スマホ講習会」を開催し、申し込みをされた6名（定員8名）が熱心に受講されました。

これは総務省のデジタル活用支援事業として、希望した沢谷公民館で開催となったものです。講師は（有）ウィル（ウィル）さん（松江市）の職員さんで、わかりやすく丁寧に説明してくださいました。講習会では、スマホの安全な使い方を基本に、インターネットで適切に情報入手する方法や、注意すべきポイントなどの説明をはじめ、大雨の際の浸水アプリの活用方法などを学びました。

また、テキストにはなかった便利なアプリの取得方法や、不要なアプリの削除方法など、受講者の質問に答えてくださいました。

携帯電話所有者に占めるスマートフォン比率は、2010年の4%から現在97%と大幅に増加しています。便利だけれども正しい使い方を心がけましょう。



みどりの風 詩のコーナー

いる

ぼくはしてる
なにかをしている
でもそれよりまえにぼくはいる
ここにいる

ねむっていてもぼくはいる
ぼんやりしてもぼくはいる
なにもしてなくてもぼくはいる どこかに

きはたってるだけでなにもしてない
さかなはおよいでるだけでなにもしてない
こどもはあそんでるだけでなにもしてない
でもみんないきて「いる」

だれかがどこかにいるのっていいね
たとえとおくはなれていても
いるんだ いてくれるんだ
とおもうだけでたのしくなる

谷川俊太郎詩集『すき』

作者 谷川俊太郎

発行者 齋藤廣達

発行所 株式会社 理論社

お知らせコーナー（公民館・交流センター・連合自治会 等から）

◆『年末年始の休館』について（交流センター・公民館から）

12月28日（土）から1月5日（日）まで休館となります。

◆『とんど焼き』の開催について（連合自治会から）

お正月恒例の「とんど焼き」を開催しますので、正月飾りや書き初め等を持ってご参加ください。温かい ぜんざい も用意します。

開催日時：令和7年1月12日（日）午前9時30分から（雨天延期）

会 場：沢谷交流センターグラウンド

※準備を前日の午後1時30分から行いますので、都合のつく方はご協力ください。

こもれび

年の瀬を迎えたこの時節に思
い浮かべる言葉、それは『光陰
矢の如し』。光陰の「光」は太陽
（日）を、「陰」は月を表し、月
日が矢のように早く過ぎていくこ
とを表している言葉であることはご承知
のとおりです。▼元旦早々、能登半島大
地震にはじまり、様々な出来事そして出
会いや別れがあった2024年も、振り
返れば矢のごとく過ぎて過去の年となろ
うとしています。▼この「沢谷公民館だ
より」の発行においても、月日の経過が
とても速く感じられ、なんとか毎月20
日の配布を終えるとホッとする毎月で
す。▼掲載記事は公民館、連合自治会、
その他沢谷地域の行事などですが、それ
らは毎年ほぼ同じ時期に開催されるた
め、否応なしに前年と同じ見出しになり
ます。しかし、内容はなるべく前年と同
じにならないよう執筆者一同努力して
書いているつもりです。不満な点も多
くあることと思いますが、「毎回楽しみ
にしています。」とお手紙をいただくこ
ともあり励みになっています。▼何はと
もあれ、一年間、公民館だよりをご愛読
いただきありがとうございます。迎
える年もよろしくお願い申し上げます。

★行事予定（11/21～12/28）

行 事	日 時	会 場
スポーツ吹矢教室（公民館定期講座）	12/24（火） 9：30～	体育館
青パト隊年末パトロール	25（水）、26（木）18：00～	駐車場から
集まれ！沢谷っ子 冬を楽しもう！	26（木） 10：00～	全館
消防沢谷分団年末警戒	28（土）、29（日）の予定	各班ごと
【年末年始の休館】	28（土）～1/5（日）	
チャレンジ教室（公民館定期講座）	1/8（水） 10：00～	多目的室
青パト隊一斉パトロール	8（水） 18：00～	駐車場から
自治会輸送バス	9（木） 8：40～	（沢谷～飯南町）
ニコニコ健康教室	10・24（金） 9：30～	和室
とんど焼き	12（日） 9：30～	グラウンド
ほのぼのサロン	23（木） 9：30～	多目的室
スポーツ吹矢教室（公民館定期講座）	28（火） 9：30～	体育館

沢谷地域の人口と世帯数（11月30日時点の住民基本台帳数値） ※（ ）内は前月比増減
人口449（－3）〔男性224人（－1）・女性225人（－2）〕 世帯210世帯（－1）

〒699-4712 美郷町九日市 118 番地 沢谷公民館発行 TEL：75-1920 FAX：76-0022